m. GEO協議会だより
令和８年１０月１日（No.145）
編集・発行　Mine秋吉台ジオパーク推進協議会

APGN シンポジウム2026 出席報告



▼授与された世界ジオパークネットワークの加盟証


CERTIFICATE

Miné-Akiyoshidai Karst Plateau UNESCO Global Geopark, Japan
as
Global Geoparks Network - Institutional Member
For the period 2026-2029

9月7日から10日まで、マレーシアのランカウイユネスコ世界ジオパークで、APGN（アジア太平洋ジオパークネットワーク）シンポジウム2026が開催されました。シンポジウムでは、篠田会長が世界ジオパークネットワークの加盟証を授与されました。

当ジオパークからは、篠田会長をはじめ、脇田学識顧問、事務局員、グローカルチャレンジ参加者6名の計13名が参加しました。参加者はそれぞれ英語で発表を行い、Mine秋吉台ジオパークの魅力や活動を世界に発信しました。

▼発表した内容▼



篠田会長&ウィルソン

Mine秋吉台ジオパークにおける平和構築の手段としてのパートナーシップと連携



脇田学識顧問

ジオパークにおける「誰一人取り残さない」：地域社会の福祉のためのユニバーサル・ツーリズム



中村事務局長

Mine秋吉台ジオパークにおける行政・地域連携の体制構築と実践



谷事務局次長

Mine秋吉台ジオパークパートナーの活動－ジオガストロノミーの視点から－



小原事務局員

日本のMine秋吉台ジオパークにおけるカルスト台地（特に洞窟）の保全の取組



岩本事務局員

日本のMine秋吉台ジオパークにおける生態系を活用した教育普及活動

第5回 ジオアカデミーを開催！

今回のテーマ **カルスト地形**

講師 **浦田 健作 氏**（福岡女子大学）

ブラタモリにも出演！



◀左のQRコードから過去の開催一覧表を確認できます。

日時	場所	その他
10月18日（日） 10:00～12:00	秋芳地域まちづくりセンター	参加費：無料 申込み：不要

新国際交流員の紹介

8月に、新しい国際交流員が着任したので紹介します！



◆イギリス出身◆

マイルズ トマス
国際交流員

「トム」と呼んでください！



◆ベトナム出身◆

ハー タイ ソン
国際交流員

「ソン」と呼んでください！

発行・問合せ先　Mine秋吉台ジオパーク推進協議会
山口県美祢市秋芳町秋吉11237-862
Mine秋吉台ジオパークセンターカルスター
☎ 0837-63-0055
mine-geo@city.mine.lg.jp

グローカルチャレンジとは？：
Mine秋吉台ジオパークの課題を探究し発表や交流を通じて海外のジオパーク大会参加者や地元の方と一緒に地球規模の課題とその解決策を考えるプログラムです。
令和8年度第1期生として10代から60代まで幅広い世代の6名が参加しています。

この事業は、一般社団法人自治体国際化協会の助成事業により実施されています。

グローカルチャレンジのメンバーも、英語で発表&ディスカッションしました！



APGNシンポジウムの9月10日には、グローカルチャレンジの2チームがそれぞれ探究した課題について英語で発表を行いました！翌日、9月11日には、ランカウイユネスコ世界ジオパーク及び室戸ユネスコ世界ジオパークの生徒と共に探究した課題に関するディスカッションと交流を行うことで学びを深めました。

洞窟チームの発表

メンバー　木野瀬さん、内山さん、櫛崎さん



洞窟チームは、観光資源としての秋芳洞の活用と、洞内の自然環境の保護の両立について発表しました。秋芳洞はMine秋吉台ジオパークの貴重な地質遺産ですが、人工照明を導入したことにより照明植生が繁茂し、オーバーツーリズムも危惧されています。発表では、外来植物が洞内へ持ち込まれることを防ぐための入口マットの設置などの取組を紹介し、入洞前に環境保全の動画を観てもらうことや、ネット予約を利用して入洞者数を管理することを提案しました。

教育チームの発表

メンバー　谷岡さん、神田さん、来住さん



教育チームは、Mine秋吉台ジオパークのジオガイド、ジオパーク内で教育を受けた大学生、ジオガイド養成講座を受講している市民という3つの視点から、Mine秋吉台ジオパークが行っている教育活動を紹介しました。ジオガイドは体験学習を通して学びを深めていることを説明し、大学生は自分が子どもの頃にジオ学習を受けたことで地域に対する誇りが芽生えた経験を紹介しました。ジオガイドを目指している市民は、訪問者にジオパークエリアの好きなことを紹介するなど、自分が何気なく日常生活の中で行っている取り組みがジオパーク活動に繋がっていることを説明しました。

次号以降、グローカルチャレンジ参加者の感想や、ディスカッション・交流の様子などを紹介します。